



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2020 年5月報

- 国際会長主題 「より良い明日のために今日を築く」
- アジア太平洋地域会長主題 「アクション」
- 東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動」
- 北東部長主題 「各クラブの個性を磨こう」
- クラブ会長主題 「ホップ・ステップ・そろそろジャンプ」

会 長 中川典幸
 副 会 長 佐々木絹子
 書 記 横倉 純
 会 計 吉田一恵
 メネット会長 田中京子
 担当主事 高橋光子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9 番 7 号 仙台YMCA内
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句> 「あなたがたのうちだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。なぜ、衣服のことで思い悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意してみなさい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし、言うておく。栄華を極めたソロモンさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。」 マタイによる福音書 第6章27節～29節

4月の例会 新型コロナウイルス感染予防のため、中止とした。

4月例会報告

在籍者	15名
出席者	0名
メイキャップ	0名
ゲスト・ビジター	0名
メネット・コメット	0名
出席率	0%
ニコニコ	0円

「断捨離」 佐々木 絹子

今の時を大切に過ごそうと思い、戸棚や押し入れ、水回り、洋服の片づけと日頃手を付けない場所、後まわしたい所を、今流に言いますと“断捨離”。

不要な物を減らし、生活に調和をもたらそうと頑張ってみました。何度もやり直して



の悪戦苦闘をし、根を詰め一段落して思った事は疲れたわ・・・！！

けれども“すっきりして、それぞれの場所が使いやすく、美しくなり、楽しくなったね”という事でした。家族は、一週間もしたら元通り“グチャグチャになるよ”と宣言してくれましたが、今回は絶対にそんな事があってはならないと決心をし、使ったら元に戻す、手早く片付ける、常に気を配ること、断捨離はいかに収めるのではなく、要らない物を捨て、使いやすく、美しく、そして楽しむこと、これを肝に命じていこうと思うこーヶ月でした。

又、自分の心の中も神様に断捨離をして頂き、素直な人になれます様にと願い、祈る者です。



the spirit of DanShaRi

5月の強調月間「EF」「JEF」

「EF」(Endowment Fund)とは国際ワイズダムの発展のための特別の基です。個人、クラブが記念すべき出来事、行事、慶弔関係などのおり、寄付を国際協会に送して積み立てます。US\$120以上の寄付の場合、寄付者名と記念すべき事業等を国際が永久保管する「ゴールデンプック」に記帳されます。国際にはこの基の推進委員会があり、東日本区では国際・交流事業主任がその推進を担当する。「JEF」(Japan East Y's Fund)とは東日本区ワイズ運動の継続的奉仕活動を支えるための基です。個人、クラブが記念すべき出来事、行事、慶弔時等の時の拠が基になっている。寄付者名とその理由を「奉仕帳」に記帳し永久保存されます。

<5月臨時例会報告>

日時：2020年5月19日(火) 18:30~20:00

会場：仙台YMCA 会議室

出席者：中川・横倉・吉田・佐々木・田村メネ・田中・高松・小幡・高橋

新型コロナウイルス感染防止のための緊急宣言が解除されたことを受け、約90日ぶりに例会が持たれた。内容的には第二例会に準じ当面の課題について討議された。

- ① 6月第二例会は、年間計画通り6月第1火曜日に開催する。
- ② 6月第一例会も年間計画通り6月第3火曜日に開催するが、例年会場を移して慰労会として持たれてきたが、今回はYMCA会議室にて開くこととする。
尚、夕食を準備するか無しにするか等は第二例会時に再度協議する。
- ③ 例年6月に開催してきた仙台YMCAバザーは延期となり、10月11日(日)の開催で検討されている。
- ④ 次年度、仙台YMCA特別プログラムのバザーと国際地域協力募金の実行委員長は仙台クラブが担当になる。
- ⑤ 次年度ロスター(会員名簿)校正の再確認を行った。
- ⑥ 5月東日本区ニュース(理事通信)の内容を確認し、区から当面の課題等について会長宛に届いている、内容を中川会長から報告を受ける。東日本区大会は中止となったが、これまでに種々開催に向け準備をしてきた費用負担の扱いについて、等が読み上げられた。
- ⑦ 次期クラブ役員について、書記を高松ワイズメンにお願いしたい旨、中川会長から依頼があり、承諾を頂いた。
- ⑧ 岡久雄ワイズメンを功労会員として承認して頂く旨、山田東日本区理事に申請中だが回答待ちになっている、と周知された。

(翌20日に山田理事より「承認します」との回答がありました)



・・・距離を取り、マスクをつけた例会でしたが、顔を合わせ冗談を言ったり場の雰囲気を感じたり良き例会でした。



仙台 YMCA 国際ホテル製菓専門学校テーブルマナーに参加して 佐々木絹子

2020年2月15日(土)仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校の卒業行事のテーブルマナーの会に参加させて頂きました。

卒業生と一年生が力を合わせて、ディナーコースを全て作り上げることでした。メニューはスモークサーモンと大根のマリネ、ジェノベーゼソース、カボチャのポタージュ ガラムマサラ風味、鯛のソテー ブールブランソース、鴨肉のロースト 赤ワインソース リゾット添え、イストワール サンドリオン、フランスパン、クルミパン、コーヒと本格的メニューが揃えられておりました。

ワンダーランドの世界に入って、楽しみ、美味しく、満足してもらいたいというテーマにそって、一品一品が素敵なおとぎの国を表現されたものでした。楽しく、美味しく満足感充分でございました。二年間の学びの期間に諸先生方のご指導の元、自信にあふれて堂々と社会に巣立っていくことの出来るまでに成長していらっしゃる姿に

感動いたしました。卒業の皆様は、又ここから社会にスタートです。今後の歩みの中に神様の祝福と御守りが多からんことを祈らせて頂きます。

テーブルマナー基本ハンドブック、これは本当に嬉しい、安心してテーブルに着くことの出来ました一品でした。

そして、担当者の方のステキなカードの一筆のおもてなしの心がファーと伝わって参りました。今後皆様も是非この思いを味わって
みてはいかがでしょうか・・・・・・・・



私の好きな○● 「オンライン飲み会」

小幡 忠弘

お酒を飲んで二十数年、パソコンのモニター越しに友人とお酒を飲むのは初めての経験でした。そう、今流行のオンライン飲み会です。この飲み会をするまでは、パソコンの画面を見ながら1人でおつまみとお酒を準備して飲み会をする意味が分かりませんでした。一人で飲むのとあまり変わらないじゃないかと。しかし、やってみるとわざわざ国分町まで繰り出し、終電を気にして中途半端に飲み、高いお金を払わなくとも十分楽しめることがわかりました。

何といっても遠くに住んでいる友人とワイワイ時間を気にせず自分のペースでお酒が飲めて、好きなものを食べながら自宅でリラックスして飲めるのはなかなか快適です。しかも安い！帰りのことを気にしなくても良い！普段の飲み会のように濃厚なやりとりはできませんが、これはこれでありだと思いました。一通り話したあとは、コロナが落ち着いたなら直接飲むことを約束して終了しました。



まさに、政府が提唱する新しい生活様式を垣間見た瞬間でした。とはいえ、一日も早くみんなで集まって飲みたい！一日も早くその日が来ることを待ち望みつつ、めらせていただきたいと思います。

「デジタルとアナログ」

Change! 2022 推進委員・ITアドバイザー

大久保 知宏（宇都宮）

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、クラブとしての活動も停滞を余儀なくされています。そんな中でも絆を繋いでいく方法として、ITツールを活用した工夫がいろいろな場面で行われています。

渡辺大輔さんが前号で多くのツールをご紹介いただいていますので、ぜひご活用いただければと思います。宇都宮クラブでも、役員会をLINEのグループビデオ通話で、例会をブログのコメント機能を利用したもので行っています。一つのブログにコメントを残していくことで意見交換する仕組みですが、後から読み返すこともできるので、思わぬ効果を生んでいます。

私は今号では、ポストコロナの会員増強について意見を述べさせていただきます。Change! 2022委員会ではクラブの情報提供の方法としてFacebookを推奨しています。まだ全クラブにはなっていませんが、多くのクラブがクラブの情報提供を始めています。こうしたデジタルの活用は情報を多くの人に伝えることに優れています。紙に印刷して配布されるブリテンに比べて、東日本区のウェブサイトに掲載されているデジタルのブリテンは、情報の伝播力という点で、はるかに強いものになっています。

また、Eメールはその情報の伝達スピードに手紙とは比べようがありません。しかしながら、ネットでいつでもニュースが見られる時代でも、部数は減っているものの新聞は発行されています。また、LINEで年賀の挨拶が普通にされるようになって、こちらでも減少は著しいものがありますが、年賀状が出されています。

私は高校入学のお祝いに出始めのデジタル時計を貰いました。今、使っているのはApple Watchですが、文字盤はアナログになっています。このようにデジタル社会が進む中でも、アナログな要素を求める気持ちが人間の中にはあるのではないかと思います。

さて、コロナが終息したときに、多くの人はその後もソーシャル・ディスタンスを意識した行動を求めるような気がします。新入会員を勧誘するために、クラブでは例会に招待する手法をとりますが、お誘いした方が、多くの人を集まる例会に参加することを避ける傾向が出てくると思います。そうした状況が出る中で会員増強を進めるためには、Facebookや例会や活動のLIVE配信など、デジタルツールを駆使してクラブの楽しさを伝える範囲と頻度を拡大させることが必要と考えます。しかしながら、そうしたアプローチを補完し、クローリングとして入会の決断をしていただくためには、紹介者の個人的なアナログで伝統的な動きが欠かせないと思います。大人数での集まりは避けるものの、少人数の集まりには飢えた状況が続きますので、そうした少人数の集まりを企画していくことや、敢えてEメールでの連絡ではなく、アナログな手紙を出すことなどで、損なわれた絆を求める心に響くことになると思います。デジタルとアナログを上手に組み合わせた会員増強を目指しましょう。

Change! 2022 ニュース No. 11 より抜粋

編集後記



緊急事態宣言が解除になりました。新しい生活様式を心掛け「With コロナ」の意識での生活を始めていますか？怖がってばかりはいられませんが、怖がりながらそろりそろりと生活してまいりましょう。まずは何をしましょうか・・・？私は、映画館に行きたい！楽天の応援にも行きたい！いつかな？（MT）